

テニュアトラック推進本部／小澤研究室

1. 領域構成教職員・在職期間

助教	小澤 大作	平成 24 年 4 月 1 日～（平成 24 年 6 月 1 日～現職）
----	-------	--------------------------------------

2. 研究概要

細胞外シャペロンによる蛋白質凝集抑制機構の解明

● 研究概要

蛋白質の秩序を安定した状態に保つことは、生命活動を行う上で最も重要な事項の一つである。そのため、生物は蛋白質の恒常性を維持する様々な調整機構を備えている。細胞内蛋白質品質管理機構については、分子レベルでその詳細が明らかにされつつあるが、細胞外における蛋白質品質管理機構については、不明な点が数多く存在する。本研究は、細胞外シャペロンによる蛋白質品質管理機構の詳細に迫り、細胞外で蛋白質の異常凝集が起きるアミロイドーシスなどの疾患の治療法開発に向けた端緒を掴むことを目的とする。

● 本学の理念との関係

本研究は、蛋白質科学的観点から細胞外蛋白質品質管理を解明し、関連する疾患の治療・予防につなげる上で本学の理念に合致する。

3. 研究実績

区 分		編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
		2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文		0	0	—————	—————
英文論文	ファーストオーサー	0	0	0.000（0.000）	0.000（0.000）
	コレスポ ンデ ン グ オ ー サ ー	0	0	0.000（0.000）	0.000（0.000）
	その他	1	0	3.733（3.733）	0.000（0.000）
	合計	1	0	3.733（3.733）	0.000（0.000）

(A) 著書・論文等

(1) 和文：論文等

a. 総説

14502001

*内木 宏延, *長谷川 一浩, 小澤 大作, *大越 忠和: ヒトアミロイド線維形成・沈着の分子機構. Dementia Japan, 28 (3), 275-282, 2014.09

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 一般講演（ポスター）

14502002

*T.Ookoshi, D.Ozawa, *K.Hasegawa, *H.Naiki: A novel cytotoxic mechanism of amyloid fibrils: Endocytosis-dependent necrosis and apoptosis of rabbit synovial fibroblasts by β 2-microglobulin amyloid fibrils, XIVth International Symposium on Amyloidosis, **Amyloid: Insoluble, but Solvable**, 2014.05, Indianapolis(USA), Program, 131, 2014.05

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 一般講演（ポスター）

14502003

*大越 忠和, *長谷川 一浩, 小澤 大作, *内木 宏延: β 2-ミクログロブリンアミロイド線維は滑膜線維芽細胞内に取り込まれ毒性を発揮する-形態解析を中心に-, 第 103 回日本病理学会総会, 2014.04, 広島市, 日病会誌, 103 (1), 360, 2014.03

(3) その他の研究会・集会

a. 一般講演（口演）

14502004

*大越 忠和, +山口 格, 小澤 大作, *長谷川 一浩, *内木 宏延: 滑膜線維芽細胞に対する β 2-ミクログロブリンアミロイド線維の細胞毒性メカニズムの解析, 第 2 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, **アミロイドーシスの新規治療への挑戦**, 2014.08, 東京都千代田区, プログラム・抄録集, 45, 2014.08

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	研究種目	課 題 名	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
文部科学省科学 研究費補助金	基盤研究(B) (一般)	アミロイドーシス発症を促進・抑制する生体分子環境解明:試験管実験と動物実験の統合	*内木 宏延	小澤 大作	2014	3,250 千円
文部科学省科学 研究費補助金	若手研究(B)	細胞外シャペロンによる細胞外蛋白質品質管理機構	小澤 大作		2014	1,950 千円